

一向寺よりのお知らせ

このたびの東日本大地震でお亡くなりになった方々のご冥福を、心より御祈念申し上げます。また、これ以上被害が広がりませんように、そして被災地が一日でもはやく復興できますように、重ねて御祈念申し上げます。

さて、一向寺の被害をご報告いたします。本堂の常夜灯が損壊、庫裡の屋根瓦が一部壊れました。また本堂の屋根は漆喰が、一部はがれました。いずれも修理依頼をしました。

境内の被害は結構ありました。本堂前の大きな灯籠が倒壊し、水屋前の参道の一部が損壊しました。また各檀家の墓所では、灯籠や塔婆立てが倒壊したり、墓石の位置がずれたり一部が落下したりしました。明らかに倒壊した墓石に関しましては、すでに一向寺より、檀家様各位にご連絡いたしました。また、墓石の位置のずれや一部落下（倒壊なし）した場合は、住職が元に戻せる範囲で元に戻し、後は服部石材店様のご厚意で、ずれた墓石を元の位置に戻していただきました。

しかしあれほどの地震でしたので、お彼岸の参拝の折は、大切な仏様方の眠る墓所における修理の必要な箇所の有無を、自らの眼で確かめてください。宜しくお願い申し上げます。

平成 23 年 3 月 18 日（春彼岸）
一向寺住職
峯崎賢亮